

### 復活節第3主日特禱

神よ、あなたの祝福された御子は、パンを裂く御姿のうちに、御自身を弟子たちに現されました。私たちの信仰の目が開かれて、贖いのすべての御業のうちに主を見いだすことができますように。主は父とともにおられ、聖霊の交わりのうちに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられます。 **アーメン**

### 旧約聖書（代行）使徒言行録9章1－6節、《7－20節》

9:1 さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅迫し、殺害しようと意気込んで、大祭司のところへ行き、2 ダマスコの諸会堂宛ての手紙を求めた。それは、この道に従う者を見つけ出したら、男女を問わず縛り上げ、エルサレムに連行するためであった。3 ところが、旅の途中、ダマスコに近づいたとき、突然、天からの光が彼の周りを照らした。4 サウロは地に倒れ、「サウル、サウル、なぜ、私を迫害するのか」と語りかける声を聞いた。5 「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答えがあった。「私は、あなたが迫害しているイエスである。6 立ち上がって町に入れ。そうすれば、あなたのなすべきことが告げられる。」

《7 同行していた人たちは、声は聞こえても、誰の姿も見えないので、ものも言えず立っていた。8 サウロは地面から起き上がって、目を開けたが、何も見えなかった。人々は彼の手を引いてダマスコに連れて行った。9 サウロは三日間、目が見えず、食べも飲みもしなかった。10 ところで、ダマスコにアナニアと言う弟子がいた。幻の中で主が、「アナニア」と呼びかけると、アナニアは、「主よ、ここにおります」と言った。11 すると、主は言われた。「立って、『まっすぐ』と呼ばれる通りへ行き、ユダの家にいるサウロという名の、タルソス出身の者を訪ねよ。彼は今祈っている。12 アナニアと言う人が入って来て自分の上に手を置き、元どおり目が見えるようにしてくれるのを、幻で見たのだ。」13 しかし、アナニアは答えた。「主よ、私は、その男がエルサレムで、あなたの聖なる者たちに対してどんな悪事を働いたか、大勢の人から聞きました。14 ここでも、御名を呼び求める人をすべて縛り上げる権限を、祭司長から受けています。」15 すると、主は言われた。「行け。あの者は、異邦人や王たち、またイスラエルの子らの前に私の名を運

ぶために、私が選んだ器である。16 私の名のためにどんなに苦しまなくてはならないかを、彼に知らせよう。」17 そこで、アナニアは出かけて行ってユダの家に入り、サウロの上に手を置いて言った。「兄弟サウル、あなたがここへ来る途中に現れてくださった主イエスは、あなたが元どおり目が見えるようになり、また、聖霊で満たされるようにと、私をお遣わしになったのです。」18 すると、たちまち目からうろこのようなものが落ち、サウロは元どおり見えるようになった。そこで、身を起こして洗礼(バプテスマ)を受け、19 食事をして元気を取り戻した。サウロは数日の間、ダマスコの弟子たちと一緒にいて、20 すぐ諸会堂で、「この人こそ神の子である」と、イエスのことを宣べ伝えた。》

### 詩 編 第 30 篇

- 1 主よ、あなたをあがめます || あなたは私をすくい上げ、私のことで敵を喜ばせることはありませんでした
- 2 わが神、主よ、私があなたに叫ぶと || あなたは私を癒してくださいました
- 3 主よ、あなたは私の魂を陰府から引き上げ || 墓穴に下る者の中から生かしてくださいました
- 4 主に忠実な者たちよ、主をほめ歌え || 聖なる御名に感謝せよ
- 5 主の怒りは一時。しかし、生涯は御旨の内にある || 夕べは涙のうちに過ぎても、朝には喜びの歌がある
- 6 安らかなときには、言いました || 「私はとこしえに揺らぐことなどない」と
- 7 主よ、あなたは御旨によって、私を強固な山にしてくださいました || しかし、御顔を隠されると、私はおじけました
- 8 主よ、私はあなたに呼びかけます || わが主に憐れみを乞い願います
- 9 私が血を流し、滅びの穴へと下ることに、何の益があるでしょうか || 塵があなたに感謝し、あなたのまことを告げるでしょうか
- 10 お聞きください。主よ、私を憐れんでください || 主よ、私の助けとなってください
- 11 あなたは私の嘆きを踊りに変え || 私の粗布を解き、喜びを帯とされました
- 12 それは、心の底からあなたをほめ歌い、口をつぐむことのないためです || わが神、主よ、とこしえに、あなたに感謝します

## 使徒書 ヨハネの黙示録5章11-14節

5:11 また、私は見た。そして、玉座と生き物と長老たちとの周りに、多くの天使の声を聞いた。その数は千の幾千倍、万の幾万倍であった。12 天使は大声でこう言った。「屠られた小羊こそ、力、富、知恵、権威、誉れ、栄光、そして賛美を受けるにふさわしい方です。」13 また私は、天と地、地の下と海にいるすべての造られたもの、そして、そこにいるあらゆるものがこう言うのを聞いた。「玉座に座っておられる方と小羊に、賛美、誉れ、栄光、そして力が世々限りなくありますように。」14 四つの生き物は「アーメン」と唱え、長老たちはひれ伏して礼拝した。

## 福音書 ヨハネによる福音書 21章1-19節

21:1 その後、イエスはティベリアス湖畔で、また弟子たちにご自身を現された。その次第はこうである。2 シモン・ペトロ、ディディモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼベダイの子たち、それにほかの二人の弟子が一緒にいた。3 シモン・ペトロが、「私は漁に出る」と言うと、彼らは、「私たちも一緒に行こう」と言った。彼らは出て行って、舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何も捕れなかった。4 すでに夜が明けた頃、イエスが岸に立っておられた。だが、弟子たちは、それがイエスだとは分からなかった。5 イエスが、「子たちよ、何かおかずになる物は捕れたか」と言われると、彼らは、「捕れません」と答えた。6 イエスは言われた。「舟の右側に網を打ちなさい。そうすれば捕れるはずだ。」そこで、網を打ってみると、魚があまりに多くて、もはや網を引き上げることができなかった。7 イエスの愛しておられたあの弟子がペトロに、「主だ」と言った。シモン・ペトロは「主だ」と聞くと、裸だったので、上着をまとって湖に飛び込んだ。8 ほかの弟子たちは魚のかかった網を引いて、舟で戻って来た。陸から二百ペキスばかりしか離れていなかったのである。9 陸に上がってみると、炭火がおこしてあった。その上に魚が載せてあり、パンもあった。10 イエスが、「今捕った魚を何匹か持って来なさい」と言われた。11 そこで、シモン・ペトロが舟に乗り込んで網を陸に引き上げると、百五十三匹もの大きな魚でいっぱいであった。それほど多く捕れたのに、

網は破れていなかった。12 イエスは、「さあ、来て、朝の食事をしなさい」と言われた。弟子たちは誰も、「あなたはどなたですか」と問いただそうとはしなかった。主であると分かっていたからである。13 イエスは来て、パンを取り、弟子たちに与えられた。魚も同じようにされた。14 イエスが死者の中から復活した後、弟子たちに現れたのは、これでもう三度目である。

15 食事が終わると、イエスはシモン・ペトロに、「ヨハネの子シモン、あなたはこの人たち以上に私を愛しているか」と言われた。ペトロが、「はい、主よ、私があなただを愛していることは、あなたをご存じです」と言うと、イエスは、「私の小羊を飼いなさい」と言われた。16 二度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、私を愛しているか。」ペトロが、「はい、主よ、私があなただを愛していることは、あなたをご存じです」と言うと、イエスは、「私の羊の世話をしなさい」と言われた。17 三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、私を愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「私を愛しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何もかもご存じです。私があなただを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「私の羊を飼いなさい。18 よくよく言うておく。あなたは、若い時は、自分で帯を締めて、行きたい所へ行っていた。しかし、年を取ると、両手を広げ、他の人に帯を締められ、行きたくない所へ連れて行かれる。」19 ペトロがどのような死に方で、神の栄光を現すことになるかを示そうとして、イエスはこう言われたのである。このように話してから、ペトロに、「私に従いなさい」と言われた。